



お話しいただいたのは
近藤 嘉人先生

vol.187

こんどーせんせいの 「こどもはスゴイ!」



食器でむし歯がうつる?の新事実

「そうなんです。ホッとしました!」私の説明を聞かれた後のママの言葉です。

2才の男の子。奥歯がむし歯になったのではと気になって以来、定期的にフッ素をしています。歯科衛生士がおこなっている間にママから質問がありました。「大人が使う食器を子どもに使わなかったら、むし歯にならないんですか?」つい同じスプーンやコップを使ってしまうことがあり、パパの家族から注意されたとのこと。

私は「むし歯の原因菌は子どもの口の中にいて、食器だけがむし歯の原因ではないそうですよ」と説明しました。

こどもはスゴイ!

先日、日本口腔衛生学会から食器の共有についての意見書が出されました。最近の研究で、生後4カ月に母親の口腔細菌が子どもの口の中に見つかることが確認され、食器の使用は離乳食開始時期の生後5〜6カ月頃に始まる、つまり食器使用以前に感染しているため「日々のスキンシップを通して子どもは親の唾液

に接触するので、食器の共有を避けるなどの方法で口腔内細菌の感染を防ぐことを気にしすぎる必要はない」としています。

効果はあるの?

さらに意見書は、食器の共有がむし歯予防に効果があるのかも記しています。むし歯に関連する複数の要因を調べた日本の研究では、3才児において親との食器共有とむし歯との関連性は認められず「食器の共有に気を付けていても、子どものむし歯に差はなかった」と記されています。

どうすればいいの?

おもちゃを舂めるなど、子どもの口の中に細菌が入るのは、どうしても避けられません。ですが、むし歯の原因菌が感染したら必ずむし歯が発症するわけでもありません。

歯磨きや食後にゆすいで口の中を清潔に保ち、糖分の多い飲料をだらだらと飲ませないなど、菌が悪さをしないように気を付ければ、むし歯はできません。むし歯が「感染症」ではなく「生活習慣病」とされる理由です。

また、フッ素も有効です。先の意見書にも「フッ化物の利用は、多くの論文でむし歯予防効果が確認されている方法です」と勧められています。

こどもの歯科

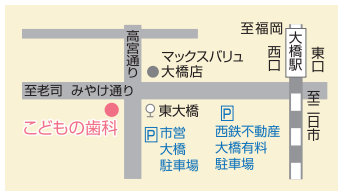
日曜日も診察しています

診療科目 小児歯科・矯正歯科
診療時間 9:00~18:30
(昼休み12:30~14:00)
【休診】木曜・祝日

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F

☎092(551)8080

http://kodomonoshika.com



情報クリップ

「絵本の日アワードinFUKUOKA」に全国から応募いただいた、心あたたまるエピソードを集めた本ができました!『絵本はホスピタリティの宝箱 エピソード33』全国の書店で絶賛発売中です!詳しくは【公式】ホームページでご覧いただけます。「絵本の日」で検索してください。

スキンシップは大事
例えば子どもの顔に近づいて話しかけると親の唾液が入りやすくなりますが、だからといって控える必要はありません。最近では親の唾液接触が子どものアレルギーを予防する可能性が報告されました。親の唾液が子どもを守ることもあるのです。
フッ素のあと「なによりお子さんとの触れ合いを大切にしてください」とお話ししました。